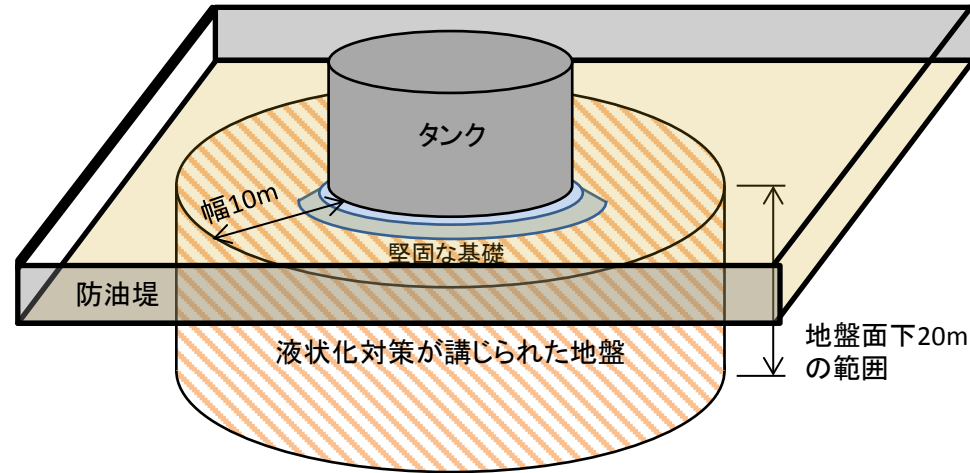


○石油タンクの耐震対策は貯蔵量ベースで98%完了しており、耐震対策が未了の施設についても平成28年度末までに改修予定。



大規模なタンクについては、昭和52年以前に建設された石油タンクも含めて、次に掲げる地震対策を講ずることとされており、東日本大震災を含む過去の大規模地震の教訓においても、適切な基準と評価されている。

- タンク本体は、最大0.5G(重力加速度の半分)の地震に何度遭遇しても構造被害が生じないレベルの十分な耐震安全性を有すること
- 堅固な基礎を有すること
- 地盤面下20mの範囲は液状化対策を講ずること

大規模な石油タンク（特定屋外貯蔵タンク）の耐震化の期限は平成25年12月31日（休止等を除き耐震対策が全て完了）。

また、その他の石油タンク（準特定屋外貯蔵タンク）及び浮き屋根は平成29年3月31日までに耐震対策が完了するよう改修予定。